

廿日市市公営企業（上水道事業）中期経営計画の達成状況について

上水道事業の健全経営に向けて、平成24年度から平成27年度における運営施策に関する方針と事業運営の目標を定めた『廿日市市公営企業（上水道事業）中期経営計画』について、平成24年度の達成状況を次のとおり公表します。

1 業務量

区 分	平成24年度実績	平成23年度実績
給水戸数	41,252戸	40,842戸
給水人口	100,408人	100,305人
普及率	97.1%	97.0%
年間総給水量	12,634,930m ³	12,741,578m ³
一日平均給水量	34,616m ³	34,813m ³
一日最大給水量	40,069m ³	39,048m ³
年間有収水量	11,254,777m ³	11,260,694m ³

2 財務状況（中期財政計画との比較）

(1) 収益的収入及び支出（税抜き）

(単位 百万円)

区 分	平成24年度			平成23年度 決算額	
	計画額	決算額	差し引き 増減額		
事業 収益	水道料金等	2,001	1,986	△15	1,987
	施設整備納付金	41	57	16	57
	その他の収入	110	195	85	132
	合 計	2,152	2,238	86	2,176
事業 費用	職員給与費	170	163	△7	165
	受水費	1,209	1,194	△15	1,202
	修繕費	60	57	△3	65
	委託料	181	163	△18	188
	減価償却費	332	328	△4	324
	企業債利息	0	0	0	0
	その他の支出	178	164	△14	163
合 計	2,130	2,069	△61	2,107	
当年度純利益（△損失）	22	169	147	69	

(2) 資本的収入及び支出 (税込み)

(単位 百万円)

区 分		平成24年度			平成23年度 決算額
		計画額	決算額	差し引き 増減額	
収 入	国庫補助金	0	0	0	0
	企業債	0	0	0	0
	工事負担金	49	22	△27	61
	その他の収入	10	11	1	0
	合 計	59	33	△26	61
支 出	建設改良費	644	427	△217	475
	(うち職員給与費)	(55)	(50)	(△5)	(53)
	企業債元金	0	0	0	0
	その他の支出	0	0	0	0
	合 計	644	427	△217	475
資本的収支差引		△585	△394	191	△414
補 填	損益勘定留保資金	557	378	△179	381
	建設改良積立金等	28	16	△12	33

※ 平成24年度決算における翌年度への繰越額37百万円(上記の表に含まない。)

利益剰余金年度末計		1,033	1,209	176	1,040
内 訳	減債積立金等	21	19	△2	19
	未処分利益剰余金	1,012	1,190	178	1,021

3 企業債残高

(単位 百万円)

区 分		平成24年度			平成23年度 決算額
		計画額	決算額	差し引き 増減額	
年度末の残高		0	0	0	0

※ 宮島簡易水道は、簡易水道として存続させるため、計画額の宮島簡易水道の承継分を控除した。

4 中期指標の達成状況

(1) 平成24年度決算

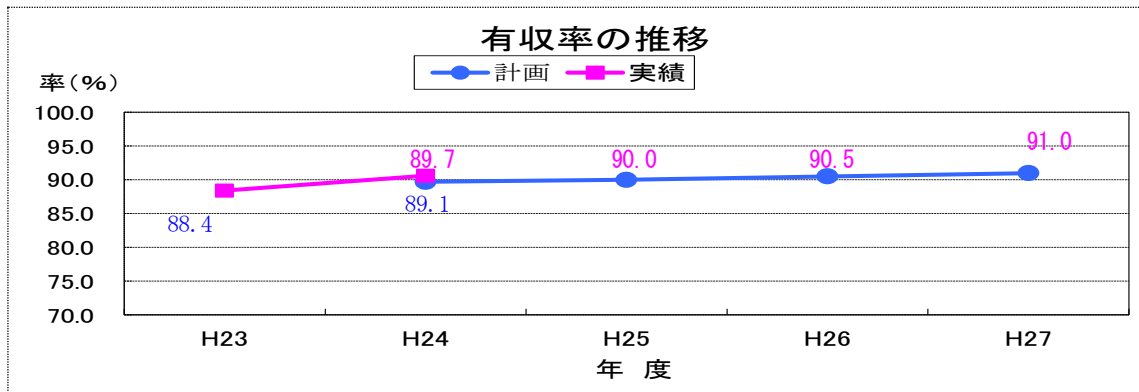
区 分	平成24年度			平成23年度 決 算
	計 画	決 算	差し引き 増減額	
有収率(%)	89.7	89.1	△0.6	88.4
供給単価(円)－①	177.34	176.50	△0.84	176.49
給水原価(円)－②	187.93	183.40	△4.53	186.36
料金回収率(%)－①/②	94.4	96.2	1.8	94.7
営業収支比率(%)	97.3	99.4	2.1	97.6

【用語の解説】

- ・有収率 ～ 有効に使用された水量の割合をみるもので、率は100%に近いほど好ましい。
- ・供給単価 ～ 供給された水1 m³当たりの売上単価
- ・給水原価 ～ 供給する水1 m³当たりのコスト
- ・料金回収率 ～ 給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合（＝供給単価÷給水原価）
- ・営業収支比率 ～ 営業費用が営業収益で賄われているか、また、どの程度の利益率をあげているかをみるもので、100%以上大きいほど好ましい。

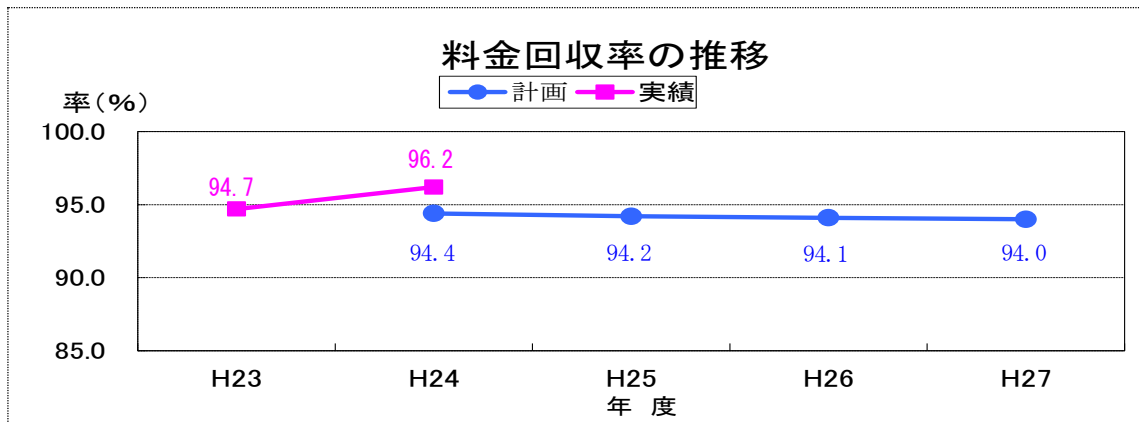
(2) 有収率の推移

平成24年度実績では、計画的な老朽管の更新等により、前年度より上回っていますが、計画を下回って推移しています。



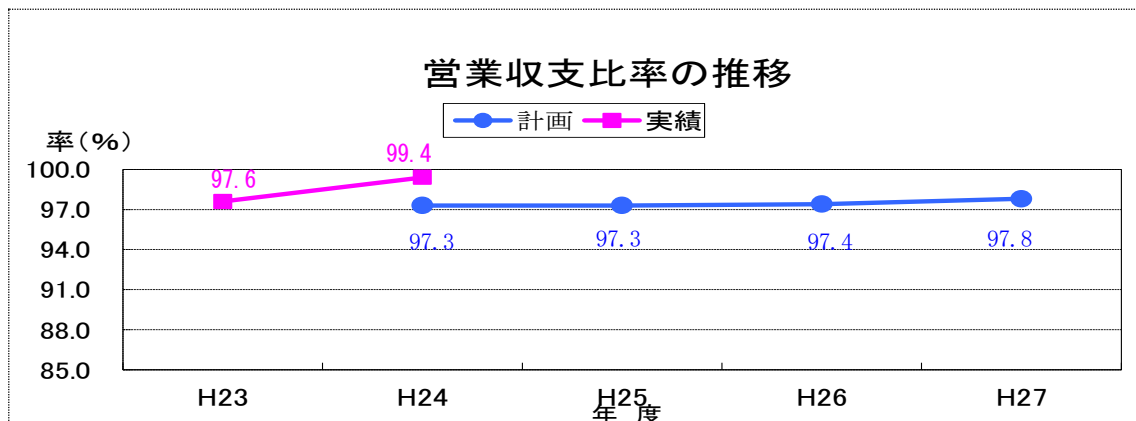
(3) 料金回収率の推移

平成24年度実績では、営業費用の減少等に伴う給水原価の減少により前年度、計画ともに上回って推移しています。



(4) 営業収支比率の推移

平成24年度実績では、営業費用の減少等に伴い、前年度、計画ともに上回って推移しています。



5 定員管理に関する計画及び給与の適正化に関する実績

(1) 定員管理

前計画期間内において職員数を5人削減（H19：31人→H23：26人）する目標を達成しました。今後とも、より効率的な経営を行うため、職員数の最適化を図ります。

(2) 給与の適正化に関する実績

本計画策定時のとおり、給与の適正化に関しては、廿日市市行政経営改革大綱に準じています。

6 主要施策の実施状況

(単位 百万円)

施策名	主な取組内容	平成24年度 事業費
配水管の拡張整備	水道未普及地域への新たな配水管の整備	49
老朽管路の整備更新	石綿管を含む老朽化した配水管等の更新	160
施設の更新改良	配水池等の施設及び設備の整備更新	69

7 経営基盤強化への取組状況

経営改革推進のために、次のような取り組みを実施しました。

- 利用計画のない未利用地を売却し、収入の確保に努めました。

8 経費節減等の取組による効果額

- (1) 平成24年度における効果額 86,327千円 (計画額：24,800千円)

※平成24～24年度の取組による効果の累計額を含む。

- 未利用地売却等による増収額 72,080千円
- 県用水受水の基本水量軽減に伴う受水費削減額 14,247千円

(2) 年度別効果額の推移

(単位 千円)

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歳入増加の効果額 (差し引き累計) -①	計画	10,533	10,000	10,000	15,000
	実績	72,080			
歳出削減の効果額 (差し引き累計) -②	計画	14,247	14,247	15,917	15,917
	実績	14,247			
効果額の合計額 (①+②)	計画	24,800	24,247	25,917	30,917
	実績	86,327			
		効果額計		計 画	105,881
				実 績	(86,327)

※効果額計の実績額は平成24年度までの累計